

ごらんください

# 億円を個性豊かな街づくりに

私たちが納めた税金はどのように使われているのでしょうか。市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年六月と十二月の二回「富士市の財政」を公表しています。

今回は、昭和六十三年予算と昭和六十二年年度の財政状況をお知らせします。

## 積極的な予算編成

六十三年度は限られた財源の中で、地域経済の進展と市民生活の安定向上のため積極的な予算編成となりました。

一般会計における歳入の市税総額は三百三十八億三千五百万円で、前年度に比べて二十九億六千七十万千円の増加となりました。

主な税目では、個人市民税の減税など税制改正に伴う影響がありますが、昨今の景気の動向を反映して、法人市民税、固定資産税の堅調な推移が見込まれることから伸び率は九・六%となりました。

国庫支出金は、六十三年度も補助負担率の引き下げが実施されています。このため財政特例債等への財源振替を余儀なくされますが、義務教育施設整備事業等補助事業の増加によって一八%の伸び率となっています。

一方、歳出は念願の短期大学誘致事業を初め、二十一世紀プランに掲げる諸施策の実現に向けて、積極的な予算となりました。

六十三年度の予算規模は、一般会計において五百四十億円、企業

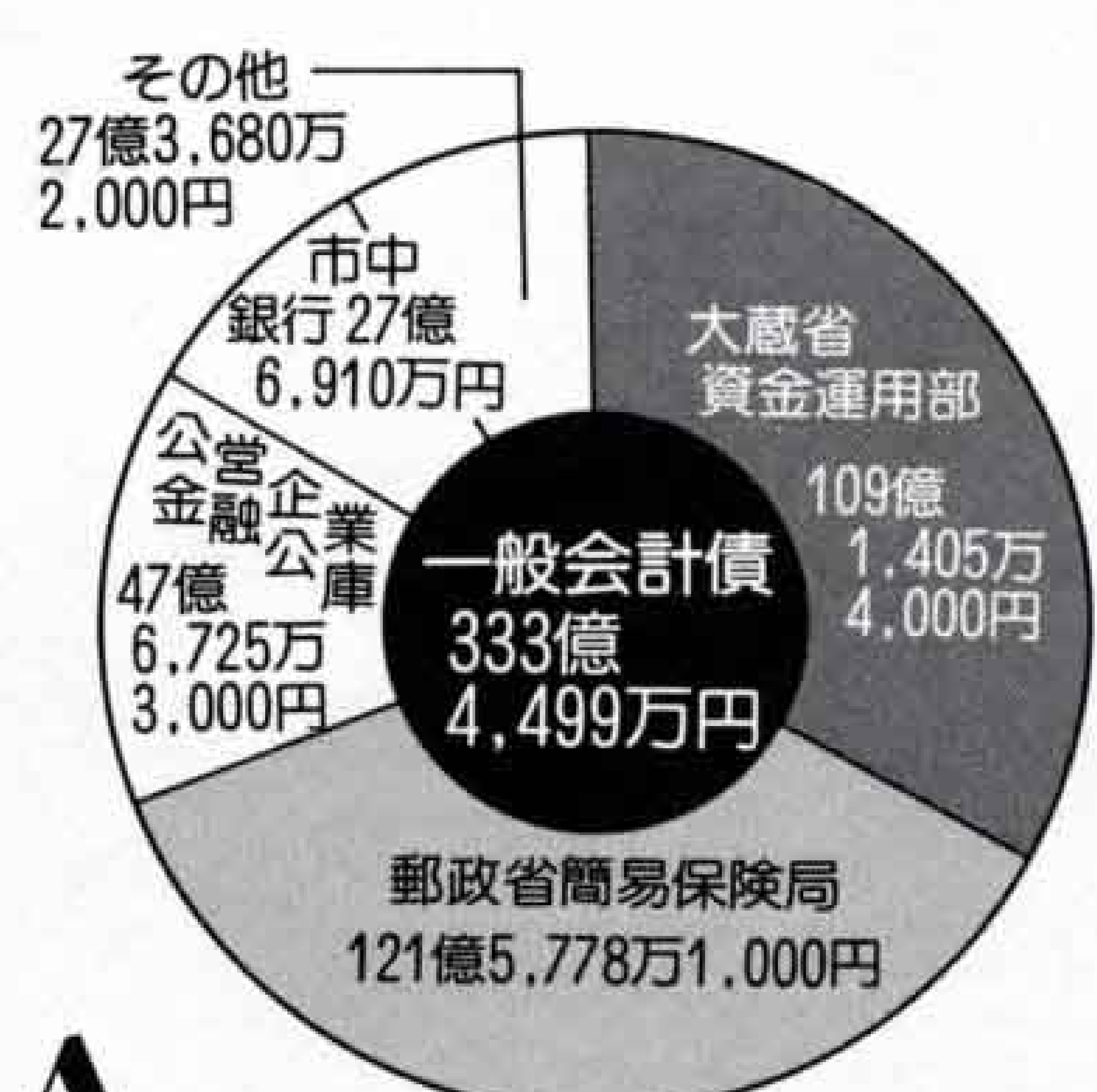
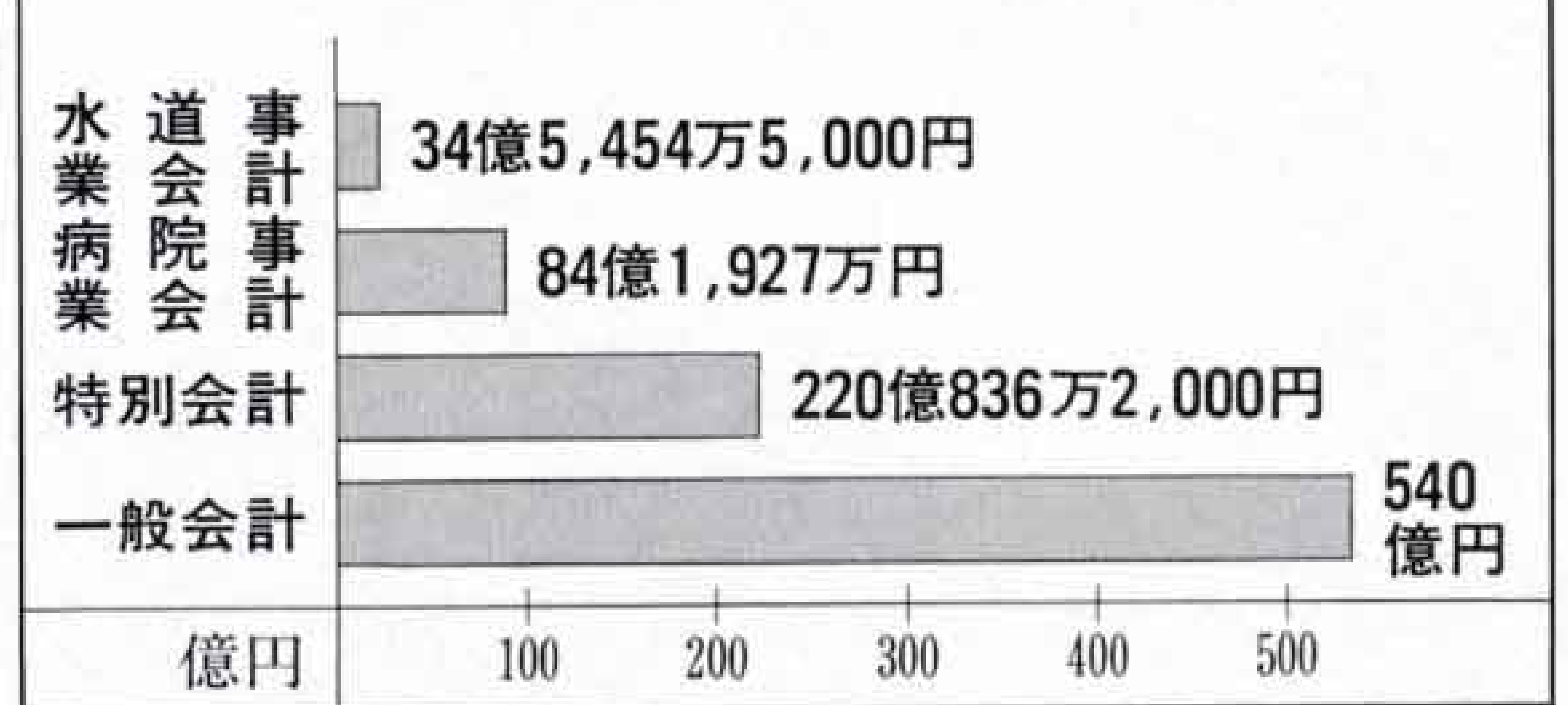
会計を含む特別会計では三百三十八億八千二百七十七万七千円となりました。一般会計の増加額は三十億円、伸び率は五・九%、企業会計を含む特別会計では二十八億五千三百六十七万七千円で、九・二%の伸び率となりました。

## 63年度一般会計（一般会計とは市税収入を主な財源として、福祉・教育・道路・消防などに使われる会計です。）

歳入		
会計年度内(4/1～翌年3/31)に入ってくるお金		
科目別	金額	構成比
<b>総額</b>	<b>540億円</b>	<b>100%</b>
市税	338億3,500万1,000円	62.7%
市債	62億5,510万円	11.6%
国庫支出金	33億6,331万4,000円	6.2%
諸収入	30億7,413万5,000円	5.7%
分担金及び負担金	17億3,479万5,000円	3.2%
県支出金	13億4,487万6,000円	2.5%
繰入金	10億 42万1,000円	1.8%
使用料及び手数料	9億2,092万6,000円	1.7%
その他	24億7,143万2,000円	4.6%

## 63年度会計別予算

総額 878億8,217万7,000円



市の借金を市債といいますが、道路や学校をつくるには、巨額な費用が必要となり、市税や補助金だけでは賄えません。そこで、国や銀行からお金を借ります。三月三十一日現在の内訳は、一般会計債 三百三十三億四千四百九十九万円・特別会計債 百九十四億六千七百二十二万二千円です。

また、返すお金を公債費といいますが、歳出の中で公債費の占める割合は、六十三年度予算で七・九%となっています。富士市は借金の少ない健全財政といえます。

**Q**

富士市の借金(公債費)の内容はどうなっていますか。

前島智代さん (天間 主婦)



# 富士市の家計簿を

## 63年度の 一般会計

# 540

市民1人あたりに使うお金	24万5,180円						
市民1人当たりの市税負担額	15万3,624円						
道路・河川の整備に 	6万563円	教育に 	5万2,554円	福祉などに 	3万1,887円	ごみの処理や健康を守るために 	2万7,074円
消防活動に 	8,215円	産業の発展に 	2万976円	公債費に 	1万9,291円	庁舎管理などに 	2万4,620円

(昭和63年3月31日現在)

総額  
338億3,500万円

### 市税の内容

市民税 159億4,500万円 47.1%
固定資産税 125億130万円 36.9%
電気税 21億2,000万円 6.3%
その他 32億6,870万円 9.7%

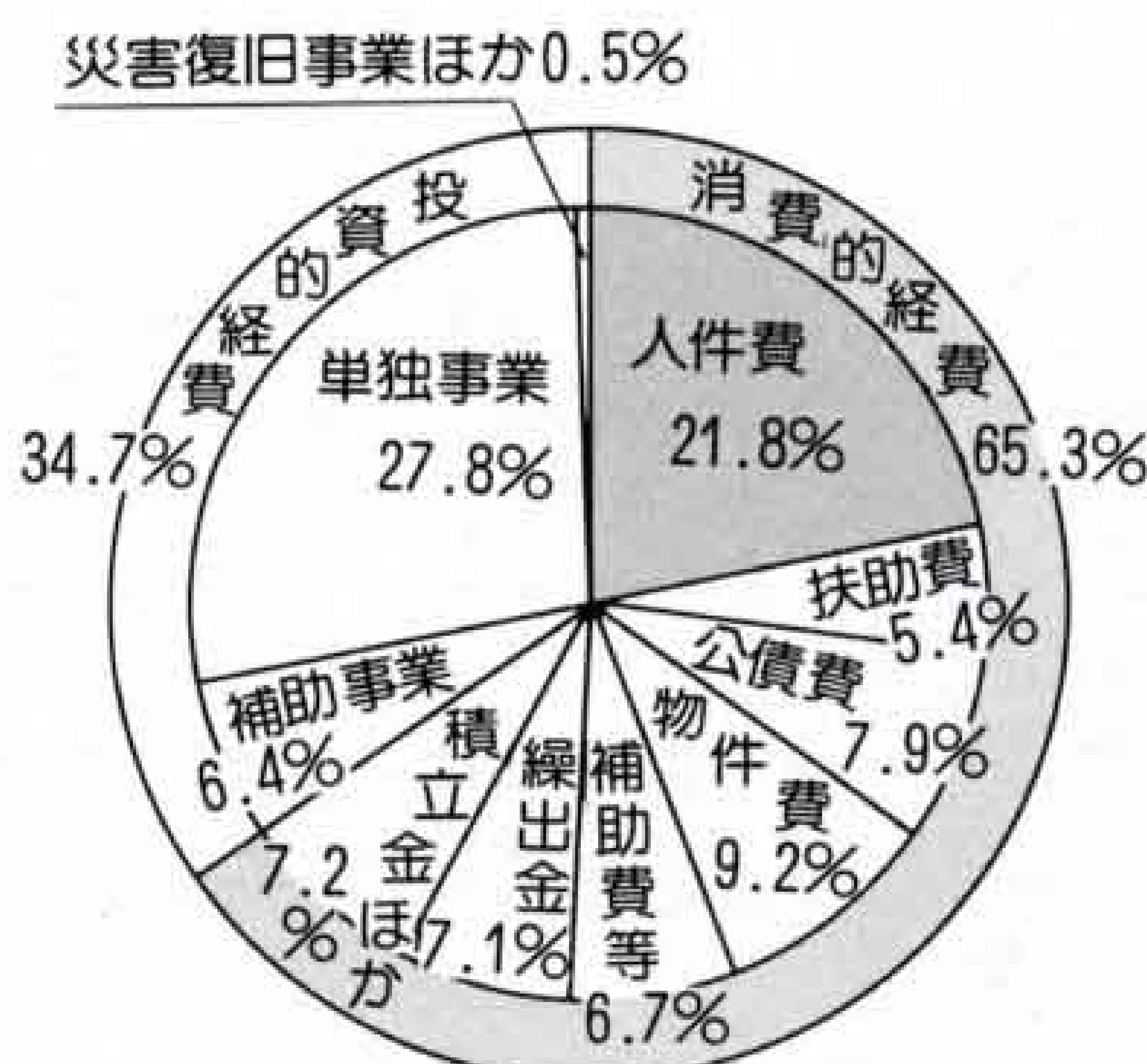
### 歳出

会計年度内(4/1~翌年3/31)に支出するお金

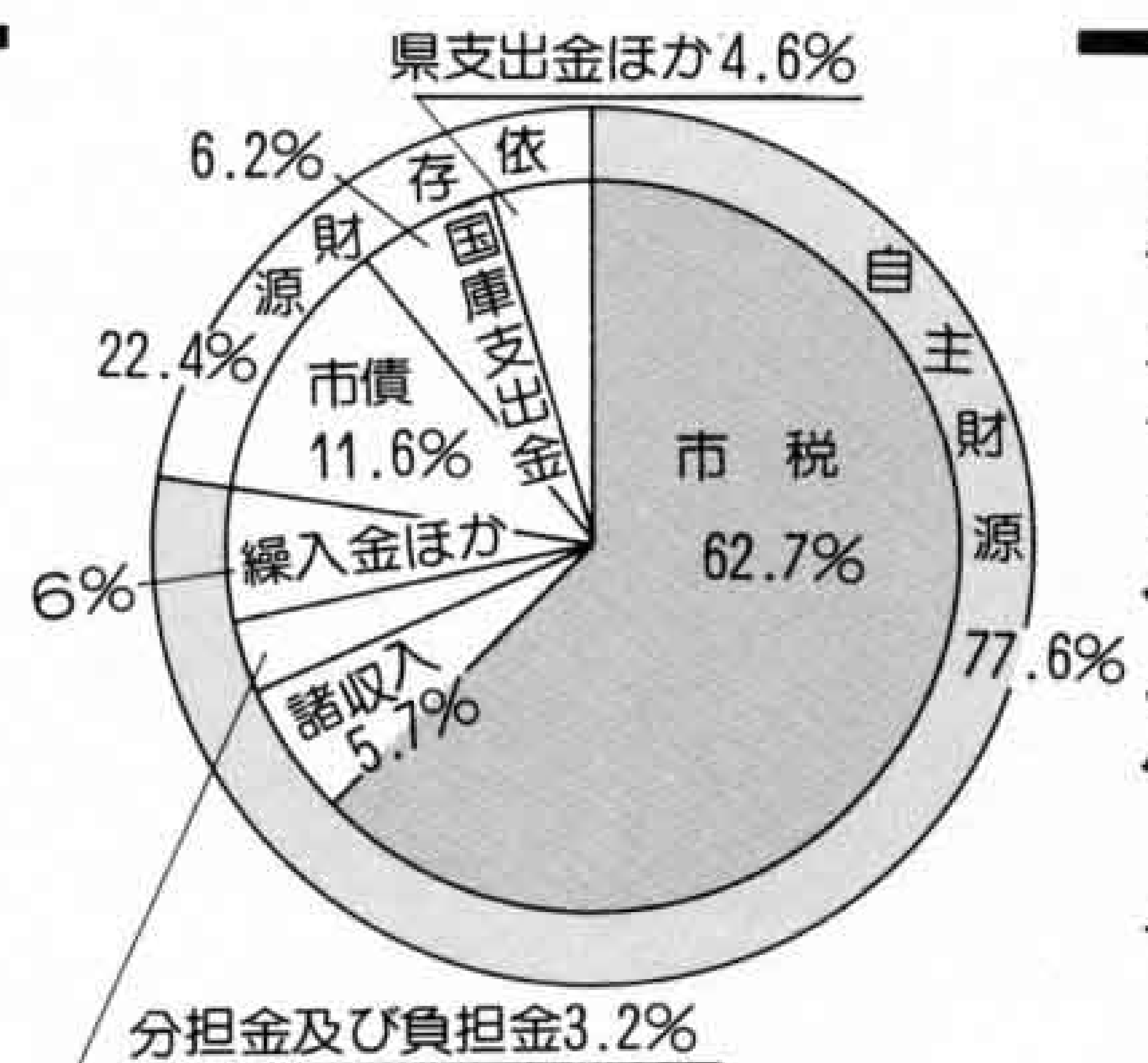
科目別	金額	構成比	使い道
総額	540億円	100%	
土木費	133億3,883万4,000円	24.7%	道路や河川の整備に
教育費	115億7,481万3,000円	21.4%	学校整備や社会教育などに
民生費	70億2,294万5,000円	13.0%	社会福祉などに
衛生費	59億6,295万2,000円	11.0%	ごみ処理や病気の予防に
総務費	48億5,278万2,000円	9.0%	庁舎管理や人件費など
公債費	42億4,879万5,000円	7.9%	借りたお金を返すために
消防費	18億935万9,000円	3.3%	消防、水防、防災のために
農林水産業費	16億2,568万1,000円	3.0%	農林業や水産業のために
労働費	15億595万7,000円	2.8%	働く人たちのために
商工費	14億8,817万5,000円	2.8%	商業や工業発展のために
その他	5億6,970万7,000円	1.1%	議会費、災害復旧費などに

### 市有財産の状況

有価証券 1,566万円 
土地 4,924万7,242平方メートル 
建物 55万3,849平方メートル 
立木 27万5,451立方メートル 
車両 268台 
基金の現在高 (昭和63年3月31日現在) 43億3,321万7,933円



### 性質別歳出

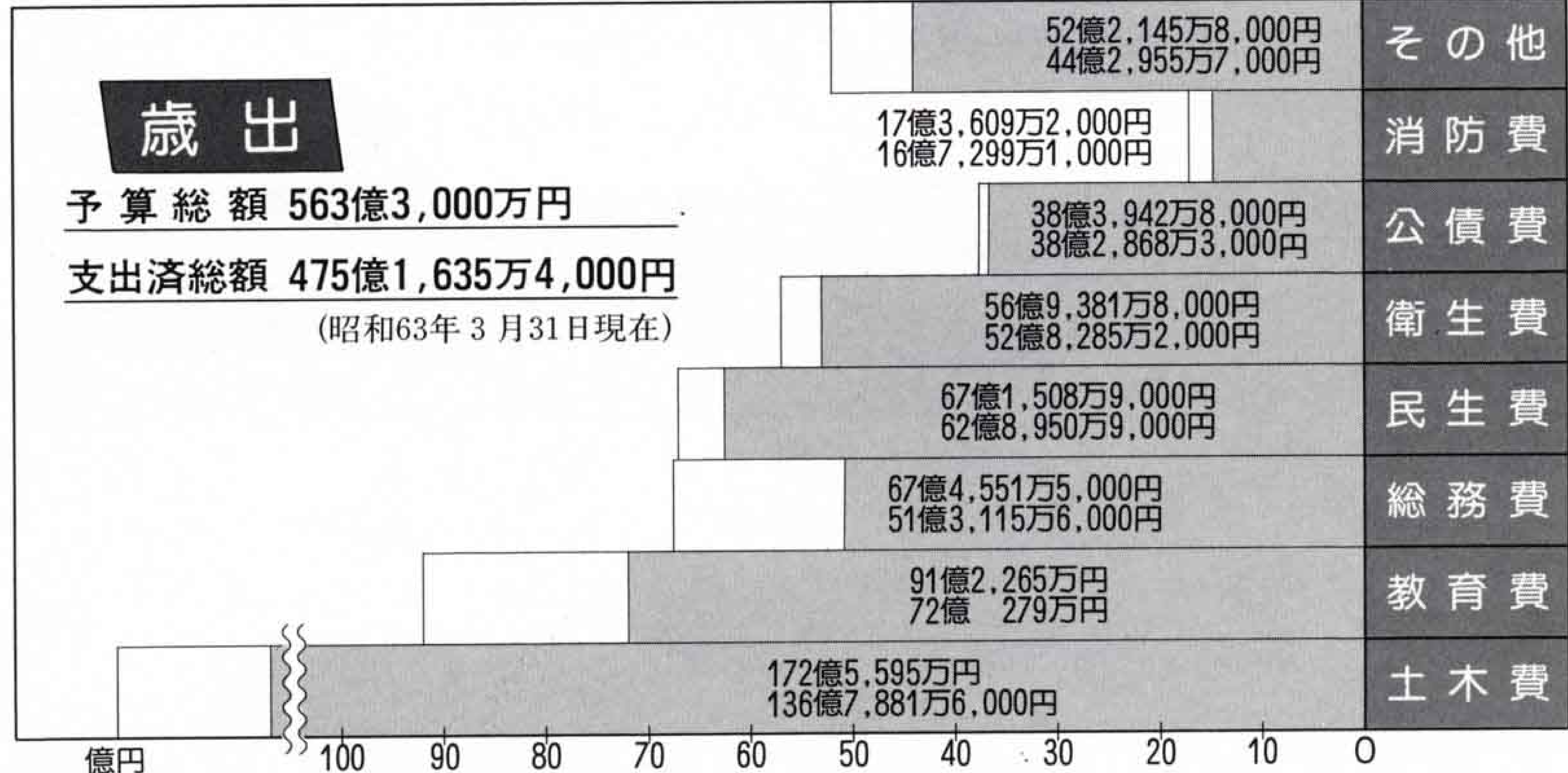
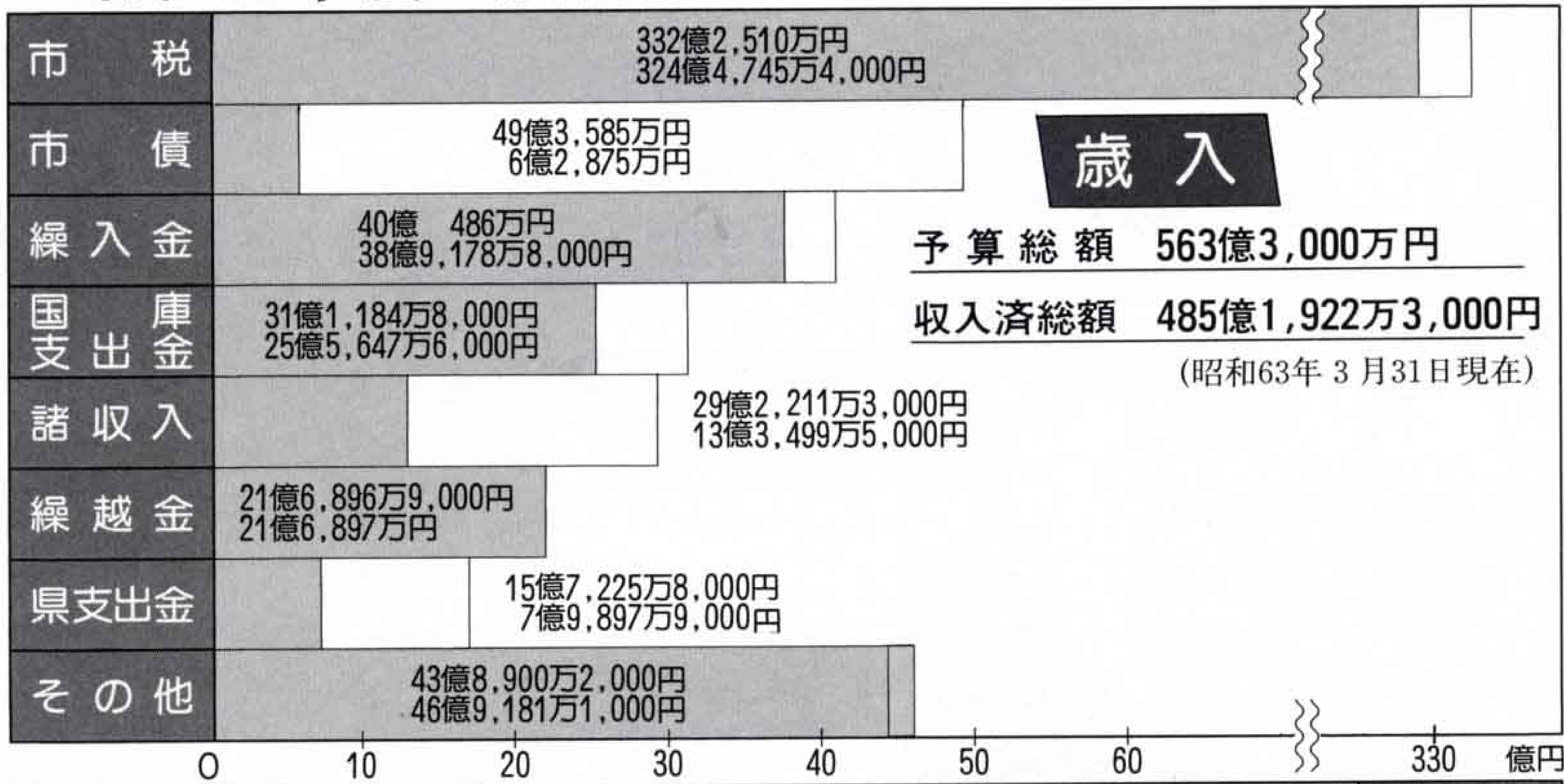


### 財源別歳入

1、富士山のように美しく自然を愛しきれいな環境をつくります

# 昭和62年度一般会計

(上段：予算額  
下段：執行額)



# 昭和六十一年度予算の執行状況

## 企業会計

企業会計は、民間企業と同様に独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

### ◇病院事業



市立富士中央病院

収入合計 79億471万円  
 医療収益 69億2,465万円  
 医療外収益 9億8,006万円  
 支出合計 75億9,415万円  
 医業費用 69億1,570万円  
 医療外費用 6億7,845万円  
 純利益 3億1,056万円

### ◇水道事業



3月に完成した鷹岡地区配水池

収入合計 25億3,275万円  
 営業収益 22億7,502万円  
 営業外収益 1億9,891万円  
 特別利益 5,882万円  
 支出合計 20億5,655万円  
 営業費用 16億3,280万円  
 営業外費用 4億2,375万円  
 純利益 4億7,620万円

## 特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、一般会計とは別に経理する会計です。(財産管理特別会計は省略しました)

国民健康保険会計		下水道会計	
予算額	70億7,200万円	予算額	63億2,600万円
支出済額	58億6,091万円	支出済額	52億4,524万円
依田原新田区画整理会計		富士中部区画整理会計	
予算額	6,910万円	予算額	16億7,900万円
支出済額	6,900万円	支出済額	13億3,002万円
地方卸売市場会計		駐車場会計	
予算額	3億4,900万円	予算額	5,520万円
支出済額	3億4,051万円	支出済額	5,397万円
公共用地先行取得会計		老人保健会計	
予算額	1億1,123万円	予算額	51億4,060万円
支出済額	1億1,079万円	支出済額	47億47万円